第6回 浅川流域連絡会

議 事 録

平成 22 年 2 月 25 日

東京都 南多摩西部建設事務所

【第6回 浅川流域連絡会】議事録

開催日時：平成22年 2月25日(木) 18時30分～20時00分

会 場：東京都 南多摩西部建設事務所 4階会議室

1 開 会

事務局

では、時間になりましたので、始めさせて頂きたいと思います。

皆さんこんばんは。

それでは、『第6回浅川流域連絡会』、第1期の最終回ということですが、始めさせて頂きます。皆さん、お忙しいところを出席して頂きまして、まことにありがとうございます。

まず、事務局の方から、いくつか確認をさせて頂きます。

配付資料ですが、『浅川流域連絡会』意見要旨(後期分)【第3回 フィールドワーク】議事録(案)「浅川流域連絡会」第2期委員継続意志確認書、河川警報設備の設置について、それから、東京農業振興事務所の資料である平山用水堰改修工事概要説明の以上になります。後一部有るのですが、今焼いています。

それでは、出席議員の確認をさせて頂きます。出席委員は、都民委員の方が10名の内7名参加しております。団体委員の方が7名の内5名、行政委員は座長も含めた8名の内7名が参加です。そうしますと、定員が25名ですが、その内19名が参加ということで、非常に高い出席率となっております。

毎回のことですが、議事録を作成してHPで公開させて頂きますので、録音をさせて頂いております。予めご了承頂きたいと思います。

なお、本日の会議終了時刻につきましては、8時を目処に考えておりますのでご協力をお願いします。

では、早速議事に移りたいと思いますので、座長に進行をお任せしたいと思います。

2 議 事

座 長

はい、第1期と申しましょうか、今日は、2年間の最後の会議でございますので、宜しくお願いしたいと思います。

では、進行したいと思います。

(1)第1期、後期浅川流域連絡会の活動報告について

座長

まず、1番「流連活動のまとめ」ということで、まず、事務局の方で資料の説明をお願いします。

事務局

はい、それでは、A4の「浅川流域連絡会」意見要旨（後期分）という資料を見て頂きたいと思います。

前期分につきましては、第4回の流域連絡会の時に発表していますが、今回の分につきましては、第4回流域連絡会、第5回流域連絡会、第3回フィールドワークの3回分の議事録を抜粋したものになっております。

なお、本日の第6回流域連絡会の分につきましては、第2期の第1回流域連絡会において、発表したいと思っております。

内容につきましては、前期分と合わせておまして、五つの大分類に分けております。1点目は、「浅川流域連絡会」及び「フィールドワーク」の運営に関する意見をまとめております。2点目は、河川整備、治水に関する意見要旨です。3点目は、環境に関する意見要旨です。4点目は、親水に関わる意見要旨です。5点目は、その他として、項目に入らないものを分類してまとめております。なお、大分類の中でも同じような意見で有れば小分類にまとめるという構成に成っております。

中身につきましては、議事録の抜粋ですので、内容説明については省略させて頂きたいと思っております。

よろしいでしょうか。

では、座長、お願いします。

座長

はい、一応、議事録を見ながら、それを整理したということでございます。

(2)浅川流域連絡会活動の感想と今後の進め方についての意見・要望

座長

それでは、2番目に移ります。浅川流域連絡会活動の感想を、委員の皆様、お一人ずつにお伺いできればと思っております、それに、意見・要望も入れて頂ければ有り難いと思っております。

それでは、どのような順番で行きましょうか。私の右手、森野さんから、感想と要望を各委員、皆様お一人ずつ言って頂けたらと思っております。次の第2期に活かしたいと思っております。

ので、宜しくお願いします。

それでは、森野さん、お願いします。

都民委員

では、今、指名を頂きましたので。

「浅川流域連絡会第2期委員継続意志確認書」ですが、私は、2番目、「継続したくない」の方に を付けました。

始めの自己紹介の時にお話したのですが、私は、極めて素朴な動機でこの会に参加しました。それは、私は浅川の南平の近くに住んでおり毎日のように浅川で散歩しているのですが、ごみがひどいのです。何とか片づけたいと思うのですが、個人では、市からボランティア袋で拾う事ぐらいしか出来ず、なにか、その様な組織に入りたいと思って、この会に応募させて頂きました。

しかし、南西建さんの仕事は、ずっと上流の方でした。それから、今、多角的に説明されておりますが、基本的に治水という極めて大きい視点からの運営であったかと思われ、どうも私にじっくりときませんでした。

最も、私は出ませんでした。前回の城山川は、清掃のことがずいぶん話題になっていて、こんなことがどこでも出来たらいいなと思って、議事録を読ませて頂きました。

このような訳で、私にはじっくりこなかった部分がありますのと、それから、ここにお集まりのみなさんの意識は相当高いものが有りまして、その意味では勉強になりましたけれども、私個人としてはそこまでやるのかという思いと、それならばもっと代わりの方やったほうが良いのではないかという思いがありまして、今回はその様にさせて頂きます。以上です。

座 長

はい、それでは、都民委員さん。

都民委員

はい、私はですね、この会の前進となった浅川流域連絡会の前の会議について、話には聞いていましたが実際に何をやっているかわからなかったもので、この会議になるべく参加するようにしていましたが、やはりこの会議の方向性は、まだ市民の思いとかけ離れたかなり上のことしかやっていないのかなという感じはしています。

ただ、第2期の流域連絡会については、私は「継続したい」に を付けています。

それは、市民の声が、少しでも都の方に届いてくれるようになったらいいかなと。これは、次回の2年という事ではなく、5年か10年後になるかもしれませんが、それでも、少しでもその様な方向に行けるのであればいいと思います。

座 長

はい、それでは、次の都民委員。

都民委員

はい、大した意見は無いんですが、この1年間、参加させて頂きまして、この会が意見を言う場として設定されていることが、よくわかりました。けれども、今後は、議論の場として、それから、行政と共に作り上げていく場として、更に活性化されることを期待したいなというふうに思います。以上です。

座 長

ありがとうございます。

都民委員

以前から環境問題に取り組んできたのですが、不満に思っていました。一つは、計画決定前の段階で、我々への相談や調査があまりない事です。それから、大きな意味で治水と環境の折り合いをどう付けるかという場合に、我々の意見を反映する余地がないという状況で決定されてきたとっていたからです。

しかし、今回参加させてもらって、少しそれが解消されつつあるのかなという事を感じています。そういう意味では、もう少しそういうことを進めて、我々のつたない意見を何らかの形で入り込める様なお相談をしてもらえないかと思っております。以上です。

座 長

ありがとうございます。

都民委員

私は、前回のフィールドワークは来られなかったのですが、皆さんが活発な意見を交わされていたようで、非常に良かったと思います。

来年以降、やるかどうかということにつきましては、前向きに、継続を前提に考え中です。

それから、多自然川づくりや治水の安全性と環境の問題、河床の低下の問題等、かなり問題が出ている中で、この会で、一度、それらのテーマについて適切な勉強会を是非開いて頂きたい。多自然川づくりであればリバーフロント整備センターがありますし、河床低下にも専門家はいると思います。浅川のその様な問題について、市民は、本当の所を非常に知りたいと思っています。また、勉強会につきましては、こういった会議とは別途主催で、一般市民の方にも出てもらうように努力して頂きたいと思います。

浅川環境自体が、ここ数年激変していると思います。川というものは変わり易い環境

ですから、良い方向に行くように少しでも努力しなければいけないと思います。以上です。

座 長

つづきまして、次の委員。

都民委員

最初に、浅川流域連絡会設置要綱等を改めて読み返して、会議がこの主旨あるいは要綱に沿って行われてきたかを考えてみたいのですが、やはり、各河川の護岸のようなハードの面に話題が行っており、私が一番関心を持っている多自然川づくりには、まだ行っておりません。今は、もっと皆で考える必要がある状況にあると思います。河川法の改正に応じて、我々も市民の立場から、行政の方も市民の立場にもう少し立ってもらって、多自然川づくりの考え方をもっともっと導入して頂きたいのです。ただ、このような席で結論を導くのは難しいと思うので、分科会やワーキンググループを作ることを、今後、詰めていく必要があるのではないのでしょうか。今の状態では、何年やってもあまり進歩せず、お互いに欲求不満になってしまうのではないかと感じております

それから、フィールドワークで現地を見たのですが、もう少し流域の実態を見る必要があるのではないかと思います。短い時間ですから、足を伸ばすのは難しいと思いますが、Google 写真をコピーして流域の様をみることや、あるいは、昔の川や流域と現状を比較が出来るようにして、それを見て考えていく事が必要であり、また、ためになるのではないかと思います。以上です。

座 長

それでは、次の委員。

都民委員

僕はですね、治水に対しては、やはり自然を対象にしていますから、なかなか難しい面があると思います。毎年変化するものですから、やむを得ないと思います。

しかしですね、昨日も川に行きましたが、上流の方に行くと、やはり川が汚れている所が多いです。ですから、やはり環境面からも、手を加えながら作り直していくことがこれから必要になるのではないかと感じていますので、後2年、継続させて頂きたい。

座 長

ありがとうございます。

団体委員

私は、団体ということで参加させて頂いたのですが、いたって個人的な関心がありまして、この会に参加させて頂きました。私は、浅川の一番橋の上下で30数年間、野鳥観察を続けているのですが、常々、環境がある程度落ち着いて今までない鳥が来たなと思ったら工事で掘り起こされて更地になってしまう事や、自然なワンドができてそこにカワセミが繁殖するかなと思っていたら一夜にして更地になってしまう事がありまして、そういう現象の背景というかを知りたいと思ひまして、この会に参加させて頂きました。

長く観ていると、多様性があると言うと語弊がありますが、生き物は環境にあった生活があり、新しい環境ができればまたそこに入って来ます。その変化が工事の前後でもあり、その流れを観るのが、個人的に非常に面白いのですが、はたしてこのままで行って、長期的に見て生物の将来はどうか。それは何故かといひますと、浅川は、かつては後背地に多くの水田と畑がありましたが、今や堤防ぎりぎりまで家が建ち、都心の川の様な形に成りつつあります。そういう意味で、今後の河川のあり方について、今までとは違い、治水だけではなく一つの大きな環境、継続的な自然についても考えて欲しいというのが感想です。

それと最後に、進め方ですけど、私もフィールドワークに初めて参加して、わかった事が多々ありました。ですので、この会のフィールドワークよりもっと身近な形で、行政の方に直接、話を聞くという形で、して頂ければと思ひます。特に、フィールドワークの時に何人が職員の方と話をしましたが、単なる工事屋さんではなく、河川の将来や自然に対しかなり良い見識を持っていらっしゃるというのが感想です。以上です。

座長

ありがとうございます。それでは、次の団体委員

団体委員

僕は、日野市の環境市民会議の水分科会で、用水の保護や、浅川等の流量維持とかをやっていました。浅川流域連絡会というのは、環境を重視する市民側の要求と、治水も含めた河川全体を管理している行政の方とで、違いみたいな所があると感じます。環境市民会議に所属する市民側ですけど、市民側というのはどうも、自分の思いだけの事を勝手にガンガン言っているというのを非常に感じています。というのは、川は、社会的な事であり金もかかるので、環境について要望しても治水のことも考えなければいけないから、行政も、できるだけ自然を守るという形で動いているけど、やっぱりその制約の中で考えるのではないかと。

そういう意味では、こういう所でもう少しお互いに勉強しあいあって、ある意味で一緒になって検討できないかと期待していたのですが、実際にはその辺の目的みたいなものはっきりしない。それから、意見も、例えばフィールドワークで川を見に行つてゴミがあつても、行政に対応を訴えかけるだけで、どういうことだという感じですか。それは、要す

るに、市民側の責任もきちんと踏まえた上で、行政は行政で全体の責任を持ちながらやっているという事の話が、もう少しできなかったかと、それが一つです。

それから、市民がガンガンやっている中で、行政が、行政の考え方を示したり、考えの甘さを指摘するような、行政としての姿勢みたいなものを出されてないのが、非常に不満に思いました。悪い言葉で言ったら、このような会を、行政は勝手なことを言う市民のガス抜きのために使っているのではないかという事を感じて、ちょっとがっかりしました。

それで、これから続けるかという事ですが、同じ水分科会をやっているのが変わってもいいというので、続けるけど人を変えたいと考えています。その時に、これ（「浅川流域連絡会」第2期委員継続意志確認書）にどう書けば良いのでしょうか。水分科会という形で継続し、同会から違う人が来ますと入れておけば良いのか、それとも、新人としてまた公募に応募しなければいけないのか、わからないのですが。それだけ、後で必要だと思っています。

座 長

はい、全部終わった後で、事務局の方で説明をお願いします。

団体委員

浅川流域連絡会の前進の時から参加させて頂いているんですが、この場合は、東京都が主体ですが、国と都と市と市民が一度にまって議論をするという今までに無い場として、内容はともかく、こういう場合は、今、すごく重要だと思っています。そういう意味では、この2年間はですね、都も、市も、市民の皆さんも努力して非常に良かったなと思っています。

ただ、市民の中でも、見ている目先が、桜の事、ゴミの事、環境のこと、私の様に護岸の事と、それぞれ違いというか、温度差があり、少ない時間で議論が出つくしません。ですから、どのようにやっているかわかりませんが平井川では分科会をつくっているの聞いてるので、どれにも参加できる分科会を作り、それぞれにテーマを絞って議論することも、2年たったので、必要だと思います。

それから、僕らは、浅川を、都市化の中で、台風等で河川の流れが変わりそれにより様々な生物が行き来するという河川のダイナミズムを大事にし、それを次の世代に続けたいと考えていますが、そこに花壇を作るようなことがあり、我々市民が止められないのも悪いかもしれませんが、行政が、対応してくれない現実があり、そこに、この様な場をいくら作っても、何かかみ合っていないのかなという感じが、凄くします。

私は、次も続けさせて頂きたいのですが、東京都も、国も、皆さん努力されて様々な情報を出して頂けますが、何か温度差があります。この間も、国土交通省の工事で、桜と榎を市民の要望で移植したという事がありましたが、我々の要望を出していません。どのような桜か聞きましたが、わからないということで、日野市に聞いたら、雑木林の上の所に移植したということでした。変わらない流れですが、これは少し違うと思います。私は、

堤防に引っかかる木は切って良いと思いますが、それを市民の要望で高い金を出して移植し、それを良いことだと思っているが、私たちはそう思っていないという温度差を改めて感じました。河川の中の自然をできるだけ守っていきたいというのは、国も都も市も市民も同じだと思っておりますので、そういう方向に向かって、更にいろんな事を議論して行きたいと思っています。宜しくお願いします。

座長

次の団体委員、お願いします。

団体委員

基本的には継続したいと思っています。それは、2年間、皆さんと一緒に勉強させて頂きましたが、肝心の浅川は、まだ着手していません。小さい川は、一緒に勉強させて頂きましたが、問題の心市街地を流れている部分は、我々が要望しても答えが返ってきませんし議論もされないの、その辺をもうちょっと詰めたいです。

特に、私は、かねがね申し上げていますが、水質とか、自然とか、バラバラではなく、総合的に、川とはなんぞやということをやすべきではないでしょうか。

川というのは土手も含めて川なのであって、土手に道路事業で車が走ってしまえば、子供等は、遊びに行けないので、様々な意味で、もう少し付近の住民たちの意見を聞きながら、一緒になって、我々が子供の時に育ったときの環境づくりにもう一度戻したい。

あれだけ荒れているのを放置しておくのが我々にはわからないのです。ここが、横浜より伸びていない原因は、浅川に問題があると思うので、浅川をもっと、きれいにしたいなと考えています。

座長

よろしいですか、では、次の団体委員。

団体委員

大分出尽くしているようですが、やはり、私は、大事なことにまだ進められる状況じゃなかったなと思います。市民間でも行政との間でも温度差がありますし、一定レベルまで知識が行き届いてない感じもします。

せっかく色々な所の団体の方が参加していたのに、そこで、「私の近辺の川でこういうことが起こった」というような情報をもらえなかったことがとても残念だなと思います。八王子と日野はとて川が多いので、フィールドワークをちょっとしただけでは全部見切ることなどできないですが、地域で活動されている方が「こういう問題点があった」というような情報が無かったですし、以前は、清掃活動やイベント、シンポジウムとか情報もありましたが、それもなかなか共有できなかった事がとても残念でした。

まだ最初の年だったのでしょうがないということもありますが、今後は、目指すべき方向に向かって、色々な勉強を引き続きしていけたらいいと思います。また、委員だけで出来る事は少ないと思うので、少しずつでも一般市民を巻き込んでいかないと、せっかくの委員会も、ただみんなで、しゃべっているだけという様なことに成りかねないので、少しずつでもそっちの方向に進めていけたらと思っています。

座 長

はい、それでは、行政委員の方にも順番通り行ってくださいという事なので、お願いします。

行政委員

私は、1年間参加させて頂いて、今日、市民の方の意見を聞かして頂きましたが、気になったのは、少し議論が深まらなかったということ、それと、色々な情報を共有する場としては、そこまで突っ込んでいなかったのかなという所があります。

私共の反省すべき点としては、工事の情報とかを言い訳をしているような感じがありましたが、市民の方は「事前に相談してくれるような場にして欲しい」という話や、「多自然川づくりを勉強する場に」という話もありましたので、そのような場にしていきたいなと感じました。以上です。

座 長

はい、続きまして、次の行政委員。

行政委員

前段でお話ししたいのですが、今までは環境部の中で水循環室という形で動いてきましたが、4月1日からは、独立して水循環部という形で水のまちづくりをしていくように組織変えをしているところでございます。

それにつきましては、皆さん方も多く意見を出されましたが、私共も、今後は水路等の整備をする際に、行政とその地域の方々と話し合いを持って、地元の意見を聞く代わりに管理等は地元をお願いするという仕組みづくりを、構築していきたいと考えています。ようするに、この浅川連絡会の縮小版を地域毎に設け、色々な意見を反映して地元で愛着を持ってもらうような川を造っていきたいという考えで進めております。この流域連絡会におきましても、先程、東京都の事業に市民の意見を取り入れて欲しいという話ができましたけれども、この様に設計しましたという説明会よりも設計の段階から市民の意見を反映してやっていく方が良いのかなと。予算等の問題もありますけど、出来るだけ市民の意見を入れて、市民に愛着を持ってもらうような川づくりをしていかなければ行けないと思っていますので、今後ともそういう意見を出して頂き、出来る事はやっていきたいと思っ

ておりますので、よろしく申し上げます。

座 長

はい、次、お願いします。

行政委員

今日は、委員の小嶋が急用で出席できなくなったので、私の方が出席させて頂いています。本当に申し訳ないと思っています。

私は初めての参加ですので、これまでについて意見は言えませんが、ただ、今の感想を聞いている中で、川に対する思いとか価値観が人それぞれ違うなど。できるだけ自然に手をつけない川が良い方もいらっしゃるれば、手をいれて子供等が遊べるような川が良い方もいらっしゃる。多分、色々な理由があると思いますが、やはり、価値観や思いが、ここだけの話でも違うと。

後、どなたかの委員や、内（八王子市）の石井の方からも話がありましたが、今月行った、川ではないのですが住民参加の会議の中で、「今までの行政は、計画を作ってから説明に来てこれで何とかしてくれという形だが、そうではなくて、計画を作る段階からこういう場で話し合いをさせて欲しい。行政が持ってくるものを全て反対することではなく計画する段階で一緒に話し合っ、お互いに妥協するところは妥協してやっていこう」と言われました。

やはり、皆さん思いは一緒なのかなと、凄くまちづくりに関わる行政の一人として、この場だけでも非常に参考になってありがたいと思います。以上です。ありがとうございました。

座 長

はい、席順通りで、東京都の方、お願いします。

行政委員

はい、東京都河川部計画課の石井と申します。舩原の代理で今日は出ています。行政委員は河川部の副参事なのですが、議会等で来られないことがあったりして、実は、私、ここ（委員の席）に代理で座ったときと、事務局側に座ったときと合わせて、この会議は、フィールドワークも含めて2回目から全て出席させて頂きました。

それで、皆さんから色々な意見に対して、感じるがあります。私は、東京都河川部という立場で他の流域連絡会にも出ておりまして、比較をするわけではありませんが、それぞれに色々な特徴があります。この流域連絡会は、今回が第一期目という事で事務局の方も委員の皆様も試行錯誤の所があったと思います。一回やってみて、今日も何人かの方からありましたが、委員の方からも、今後の行動や活動、計画の早い段階での相談などの

意見や要望を挙げて頂いて、行政、事務局側ばかりではなく、皆さんと一緒にこの会を育てて行って頂ければと思います。

先程もちょっと言いましたが、例えば平井川のように、様々な方向で活動している流域連絡会の事例がたくさんありますので、我々の方で、そういうものをご紹介したらいいのかなと考えています。今後とも宜しくお願ひしたいと思っています。

座 長

じゃあ、副座長は後にして頂いて、引き続き行政委員。

行政委員

はい、南西建管理課長の村上でございます。この会に参加させて頂いてまだ1年、先日のフィールドワークにも、ちょっと所用がありまして参加できなかったのですが、私共の河川を管理する立場で皆さんのご意見を伺っておりますと、花壇が出来ていたり、ゴミが落ちていたり、そういう御発言を聞くたびに、非常に、下を向きたくなるような思いでございます。実際にそういった現象が起きている事は私共も承知しておりますが、限られた予算と人員の中で、手が回っておりません。また、私共の考えている管理は私共から見る管理でございますので、皆さんがお持ちになる多様性のある管理には結びついていないという所で、色々な「そこ」が出ているのかなという気が致しております。今回のフィールドワークの中で色々議論なされた議事録を読ませて頂きましたけれども、河川のボランティア育成の様な、市民と一緒にした管理というものを今後作り上げていかなければいけないのかなと。そういったものが出来れば、私共も嬉しいという気持ちで、今回のこの会に参加させて頂いて良かったなと思います

座 長

はい。次の行政委員内。

行政委員

どうも、ご苦勞様でございます。

先程、私共建設局河川部の石井が申しました様に、流域連絡会は都内全域の河川でそれぞれ立ち上げているわけですけど、河川のありよう、出来方、自然発生的な部分も含め、それぞれ、特色がございます。

特に、区部の江東地区にある元々造った川、いわゆる水運として使うような川につきましては、まちづくりの中に活用していくという方向性で議論をやっている所がございますし、西多摩の方の先程出た平井川や野川は、自然に特化した形で、議論されている所が多くございます。それで、私共の所の浅川圏域流域連絡会というのは、非常に河川が多く、私共が管理している河川だけでも河川総延長 120km 以上あり、非常に多様な河川があるわ

けです。

先程村上の方も申し上げましたが、河川を管理していく上で一番大きな部分は、河川の維持管理の部分でございます。私共は50mm改修事業を着々と進めていますけど、実際にはそれ程多くの河川に手を広げているわけではございませんで、一つ一つの河川から制御をかけていくという形でございます。そういう意味では、多くの河川の、通常の維持管理のウエイトが高くなっております。その中で、皆様、市民の方からお寄せされる年間300～400件あるご要望のほとんどは、草刈り、犬や猫の死体の処理も含めたゴミの清掃が、非常に多々ございまして、そういった所に対して、金を非常にたくさん使うのが実態でございます。ですから、森野委員からもありました様に、川が汚い、ゴミが捨てられている、というような通報がございまして、バイクやタイヤも含め、全部お金をかけて一つ一つ清掃していくわけですが、また翌年に成りますと同じようなかたちで通報があり、繰り返し清掃していくという、非常に生産性の無いものに成ります。そういった意味では、流域連絡会のような会の中で、管理を共同で行い、川をきれいに、あるいは見栄えのある川にしていくというような基本的な部分を、住民参加で協調して管理し、まちづくりの一つとして高めていくような方策まで、連絡会の中で議論していきたいと思っております。以上です。

座 長

はい、それでは、副座長。

副座長

2年間、副座長をさして頂きましたけど、何も出来ないし、何も意見を言いませんでした。私は、ただ、2年間、会議やフィールドワークになるべく顔を出し、一生懸命に色々な事を吸収しようと思っていましたが、なかなか難しいものがありますし、会議だと、私は、申し訳ないですけど、これだけたくさんお偉い方が並んでらして、なかなか意見が言えなかったのが一番つらかったです。

後、ちょっと前に八王子市役所の方が、今度からは少し住民の意見を聞きながら河川改修等をして下さるというのを聞いて、ちょっと嬉しいと思いました。ここに来ますと、南西建は既に計画とかが立ててあるのを私たちにを見せて下さるだけなので、こちらから何を要望していいのかと。私達は、勉強していないものですから言えなかったのも、諏訪さんとか笹木さんとか言ってもらっちゃうのもよくわかりました。やはり、南西建も、もう少し住民の人の話を聞きながら計画が出来ないものかなとただ思いながら、また、会議よりもやはりフィールドワークの方が楽しいなと思いつつ2年間、過ごさせて頂きました。

次回、参加するかどうか、私も、今まで2年間自分がやってきたことをどういうふうに消化するかということがありますので、ちょっと考えさせて頂きます。ありがとうございました。

座 長

はい、では、私ですか。

普段、こういうことにはあまりなれていませんけど、あまり発言が出来ない部分ですけど、勉強になりました。皆さんも、随時、メモを取りながらお聞きしておりました。

噛み合わなかったり、なかなか集中できなかったりというのは、私の進行の悪さだと思いますけど、これだけの人数の方たちを、1時間半とか2時間で意見を集約するような形でまとめるのは、なかなか難しいと思います。それで、先程の笹木委員の意見でしょうか、分科会的な形も、次の第2期は少し考えてもいいのかなと。どのような形で、どのようにやっていくかは、また、皆さんと検討しなければいけませんけど、やはり、3人いれば3人の意見があるし、5人いれば5人の意見があると思うので、できるだけコンパクトにテーマを絞って、その分科会では集中してやってもらうという形が、私はもうそろそろできてもいいのかなと、正直、一期終わって、思っています。

本当に、ありがとうございました。

(3)その他

第2期委員選任手続きについて

座 長

続きまして、その他に移りまして、事務局の方で、先程の団体のメンバーを変えたい場合も含めて、第2期の選任について、お話頂けたらと思います。

事務局

第2期委員選任手続きということで、「浅川流域連絡会」第2期継続意志確認書とか広報誌をまとめた資料を見て頂きたいのですが、浅川流域連絡会設置要項で22年3月12日に委員を公募するとありますので、八王子市と日野市の広報に掲載して頂いております。但し、紙面の都合上、私共が書いて頂きたいことの半分程度しか、掲載されておられません。募集内容につきましては、前回と一緒にですけど、八王子市、日野市在勤・在住で、年3回程度の会議と年1回程度のフィールドワークに参加できる方、応募方法につきましては、浅川流域15河川への思いを800字程度の作文で書いて頂き、締切につきましては、3月12日の金曜日必着、結果は4月中に通知、ということになっています。

現時点で、既に4、5名の方から問い合わせがございまして、それと選定につきましては、公募委員会というものを作って、選考している所でございます。これは、第1回の時、私共の南西建の所長を委員長と致しまして、京浜の副所長、八王子市のまちづくり計画部長、日野市の環境共生部長の4人の委員の方から成る公募委員会を作りまして、選考しております。結果と致しましては、全員、委員になって頂いております。そして、現委員の取り扱いにつきましては、継続意志確認書で、継続したいか、継続したくないかを、3月12日必着で申し込みして頂きたいと思っています。4月中旬に、委員の選考結果を送付したいと

思います。来年度につきましては、5月末か6月上旬に、第2期の第1会を開催したいと考えております。

それから、先程の問い合わせで、環境団体の方についての取り扱いですけど、設置要項に、環境団体の方につきましては、公募で選出し、委員は代表者1名と定まっておりますので、団体の中で人が変わることは可能です。これ（継続意志確認書）は、継続したいに書いてくださって結構です。以上です。

座長

ありがとうございました。

それでは、皆さん、3月の12日までに、意志を確認して頂ければ、ありがたいと思います。宜しくお願いします。

都民委員

質問してよろしいですか。

座長

はい、どうぞ。

都民委員

八王子市の広報は、特に「応募理由を書く」とか書いてないですけど、この辺は、日野市と違うのでしょうか。

事務局

同じ案文で頼んだのですが、八王子市の方が、非常にスペースが狭くなってしまったのです。それで、電話で問い合わせして頂いて答えるという形を取っております。内容は同じです。

都民委員

実は、ある人から相談を受けまして、広報誌を見て「ただ応募すればいい」と答えてしまったのですよ。

事務局

それはまずいですね。

私共に、電話して頂きまして、お答えするという形です。

その他

座長

では、その他に移ります。

まず、「河川警報設備の設置について」です。

行政委員

「河川警報設備設置について」という事で、工事を実施する段階での説明というか情報提供になって申し訳ありませんが、浅川の方で8箇所ほど、河川警報設備というものを、年度内に設置したいということです。

一枚目は、選定した理由を色々書いておりますが、2,3年前に上流で雨が降ったことがわからずに川の中で遊んでいて人が流されたという事故が関西の方でありましたけれども、その対策の警報設備を流域管内で付け始めているのですが、その中に、鶴見川等と共に浅川も選ばれて、川の中に人が入るような所を中心に設置するという事です。

一枚めくって頂いて、地図の中に8箇所ほど設置位置を落としています。一箇所、設置を見合わせた所もあるので、9ポイント落としている内、8箇所に設置するという事です。

三枚目が設置イメージになりますが、土手の上に「大雨注意報」のような掲示が出て、音も出すことが可能ということです。これは、浅川-6の地点のイメージですね。八高線の所です。

最後の頁は、拡大しておりますが、大きさは、高さが3m程度に成ります。今、設置の準備を進めているところです。

この段階での情報提供で申し訳ありませんが、この様な工事を予定しております。

それと、もう一点、報告なのですが、21年度、5月の最初の時に、「河床高回復実験をします」ということを報告させて頂いて、今日、その結果をお知らせできれば良かったのですが、まだ、まとめきれなくてお示しできる状況ではないので、年度が開けたら報告したいと思っておりますが、報告せずに状況が良かったというのもおかしいですが、出水が来まして実験の結果は想定したようになって、石の所にレキが貯まって河床が上がったということがありました。その結果を報告せずに、追加で実験場を上流に増やすということ年度内にまたやりたいと思っておりますので、ものを作るのではなく石を置くということです。また、それは、次回、この場でその状況と今年度の結果をお知らせしたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

以上でございます。

団体委員

ちょっと、教えて頂きたいのですが、「大雨警報」とか「大雨注意報」とか、こういう形で出てくるのでしょうか。

行政委員

これは一例でして、「川から出て下さい」とかのセリフになると思います。

団体委員

はい、わかりました。

これだと、自分の所の責任にならないような気がしましたので。

行政委員

「逃げて下さい」と連動して音を出すと。

団体委員

そういう形だと、いいと思います。

都民委員

これは、大雨警報を出す元はどこですか。京浜ですか、それとも気象庁ですか。

行政委員

気象庁のデータを受けて、京浜事務所から情報を出すという形です。

都民委員

台風の時に浅川が一番気になるのですが、それにこれは対応していくのですか。

行政委員

当然、対応していきます。

都民委員

どの様な形ですか。

行政委員

言葉とかは検討中ですので、先程、佐土原さんに言われてドキッとしたのですが、音とか、表示の仕方、間隔とかタイミングも含めて、整理中だと思います。すみません。効果的なもので行います。

団体委員

この8箇所は、色々な要素を考慮して選定されたと思うのですが、浅川は、長沼の辺りで大きなカーブをしていて、降雨時に溢水というか、被災する可能性が高いところだと八

ザードマップに書いてあった場所だと思うのですが、このカーブの所に無いのは、既にあるということですか。

行政委員

いえ、これは、今回初めて付ける施設です。

基本的に川にいる人に注意を促すものなので、川が溢れる事よりは、川の中で遊んでいる人に危険を知らせる設備です。

都民委員

長沼橋の左岸の滝合小がある辺りは、子供達がいいますよ。階段があって、広い河原に降りられますよ。右岸は入れないのですが。

だから、八高線から平山まで、何故跳んでいるかと思って見ているのですが、何か、設計基準があるのでしょうか。

都民委員

浅川を歩いていると、監視カメラがついていますよね。それとの連動は、お考えですか。

行政委員

カメラにスピーカの機能は無いのですが、カメラで見て警報装置を付けたところに仮に人がいて警報に気づかないときは、警報装置からマイクで直接注意を促すことは可能だと思います。

座 長

よろしいですか。

続きまして、「平山用水堰改修工事概要説明」です。

オブサーバー：東京都農業振興事務所

オブサーバーということで急に参加させて頂いているものですが、東京都の作業部局で、立川市にあります東京農業振興事務所におります齊藤と「川村」と申します。宜しくお願いします。

今日は、初めてオブサーバーという形で参加させて頂いたのですが、主旨もよくわからずに参加しているところもございまして、今日は、情報提供と言うことでご容赦頂きたいと思っております。

こちらの方で、川にある農業用水の取水施設の補修として、防災上の見地から補強工事を実施している所であります。今年のこれからですが、浅川の平山用水堰、日野市の平山五丁目付近、八王子との境の付近ですが、平山用水堰の工事を実施しておりまして、今日、

その情報提供をさせて頂きたいと思います。概要を説明させて頂きたいので宜しくお願いします。

オブサーバー：東京都農業振興事務所

資料は「平山用水工事概要説明」になります。

一枚めくって頂くと、場所については、多摩川合流部より上流 6.1km に位置する農業用水の取水堰で、下の航空写真で、赤で囲ってあるところです。浅川を全横断して無く、半分程度堰がありまして、上流側に導流堤が伸びている所です。

一枚めくってもらいまして、工事の目的としましては、昭和 30 年代に造られて、以来、日野市の畑、水田等に水を供給していました。竣工後、40 年以上経過いたしまして、コンクリートやゲートの劣化が見られるようになりましたので、今回、改修をして、周辺地域への災害を防ぐという事と、農業用水の安定供給をはかる事を目的に、実施したいと思えます。

工事内容としましては、主に 5 項目ありまして、次の頁と対峙しながら見てもらいますとわかると思うのですが、最初、 が転倒ゲートの改修という事で、ゲート及びジャッキ類の全ての交換と、機械室及び操作盤の交換、開閉装置の電動化を考えています。そして、3 頁を見ますと、 、まん中位に転倒ゲート改修で、横 5m×高 0.85m とあります。その隣に機械室、河川区域外ですが左の方に 操作盤改修というのがあります。

戻って頂きまして、 で、上流エプロンの補修と護床工の設置であります。上流エプロンにつきましては、半分位コンクリートが割れて取れている状態ですので、その辺の補修をすると共に、今後、また折れないようにという事で、 の護床工のブロックをこの様に 2 列で並べようと計画しております。

の高水敷ブロック改修ですが、用水路の護岸というか、平らなところになるのですが、以前は張ブロックという少し軽めのものでやっていたのですが、台風等で流れることが多くなってきましたので、護岸ブロック、1t ブロックを想定していますけど、これで、補強したいと思っております。全部張り替えたいと思っております。

は固定堰の補修と下流エプロンの補修ということで、主に、コンクリート部分とひび割れの補修をしたいと思えます。

で少し下流になりますが、余水吐改修というのがありまして、ここが、今、木製の角落としゲートが入っているのですが、これも大分、漏水がひどくなってきましたので、アルミ製への交換を考えています。

工事期間につきましては、平成 22 年の 11 月 1 日から、平成 23 年の 5 月 31 日までを予定しております。もちろん、早く終われば、早く撤収する予定です。

6 番の環境配慮事項としましては、工事用道路を作成しますが、工事終了後に現況復旧致しますということで、一番後ろの 5 頁、A3 で示されていますが、仮締切と進入路の平面図ということで、左岸側から川を横断するような形で仮締切と進入路を計画しております。

そして、その仮締切りの下には、1mのコルゲート管を7本入れまして、川の水を流すことを計画しております。

工事中道路につきましては、基本は幅員4mですが、とれない所もあります。うまくとれない所については、ロープ等で区分して外に出ないようにします。

は、設置する予定のルートにつきましては、現地で確認いたします。必要なものについては、保護や移転をします。

、 、 として、このような環境対策を考えております。仮締切りに使う土砂につきましては、最後の図のまん中辺りに、切土ということで2,090m³位、深さ60cm位、切り取って、使おうと計画しております。

以上で、簡単なのですが、説明を終わりたいと思います。

座 長

ご意見ありますか。笹木さん。

団体委員

仮設撤去工が40日も見えています。魚が活発になる頃に水を濁すことになり、仮設の撤去が40日もかかるとは思えないので、できれば、4月一杯で終わるように努力してもらいたいと思いますが。

オブサーバー：東京都農業振興事務所

原則は、3/31で終わる予定にしています。ただ、降雨等で流れた場合を考えて、河川協議で許可が取れる5月末までの説明しております。内部では、3/31で全て終わるように考えております。

座 長

後は、よろしいですか。

では、団体委員。

団体委員

浅川クリーンデーを、4/18に行います。前回もお話ししましたが、浅川流域市民フォーラムで、日野市の小学生から、「いくらゴミ拾いをしても、上流から流れてきてきれいにならない」と訴えかけられまして、始めました。ゴミ拾いを始めて8回目になりますが、広げる事が出来ないで、今年も何とか継続していこうと思っています。

4/18からです。八王子市と日野市から開催の日を教えてください、この日に決定しました。

去年、北野駅の集合場所で、南口という事で間違えてしまって、高尾駅よりの南口から来た方がいてお叱りを受けたので、細かくチラシの方に書いて頂いております。

一番下の主催は、浅川流域市民フォーラムと浅川流域連絡会となっておりますが、これは最初の多摩川流域懇談会浅川部会からの継続ということで、流域連絡会という名前を入れさせて頂いております。多摩川流域懇談会の時に、懇談会ではわからないだろうから京浜河川事務所、南多摩西部建設事務所、八王子市、日野市というのを入れようとしたのですが、服部部長から八王子市と入れるのは困ると言われたことがありまして、今までがこの様に入れていなかったのですが、今回、後援の所に入っております。問題がなければ、このままの形でチラシを刷って地域に配りたいと思うのですが、いかがでしょうか。

実施内容につきましては、もし、来て頂ける方がありましたら、4/18 10:00 から、チラシ通りに来て頂ければいいと思います。

座 長

はい、皆さん、出かける方は、宜しくお願いします。

それでは、今回は、先程のように、5月下旬か6月上旬に、募集等で決まって段取りを取られるという事でよろしいですか。

事務局

ちょっとよろしいですが。

前回のフィールドワークの議事録ですが、こちら（事務局）の方で事前に確認したところ、何名かの委員から訂正等がありましたので、これを最終版としてHPに載せたいと思いますので、宜しくお願いします。

座 長

後は、事務局の方で、よろしいですか。

それでは、ご挨拶を内藤副所長にお願いしたいと思います。

都民委員

すいません。次回の日程も、今日、できたら決めてもらえませんか。

座 長

おそらく、新しい方もいるので。

今日、決まりますか。

事務局

4月頭に、委員の委任状を出しますので、その時に決めさせて頂けないでしょうか。

議事の関係もあるので、メンバーも替わりますし、その時に、新メンバーと一緒に次回日程を定めて、交付いたします。

都民委員

新メンバーを加えてと言っても、新メンバーに問い合わせる手段があるのですか。

事務局

ございません。

都民委員

ないのであれば、今回参加している次回参加メンバーで決めるしか無いのでは。

事務局

申し訳ないのですが、会計検査とか予定がありますが、まだ決まっておりませんので。人数がどれくらいになるかわからないので、会場の関係もありますので、申し訳ございませんが。

都民委員

もう一つよろしいですか。

友達から照会されているのですが、新委員に、事前に、今までの経過等のレクチャーをされるのですか。

我々と新しい人では話が合わず同じ事を繰り返すことにもなると思うので、その辺を配慮して頂けないでしょうか。

座 長

今までの議事録の様な作られた資料は、お渡しできるのではないのでしょうか。

事務局

もちろん出来ませんが、既にHPにもアップしております。

来て頂ければ、対応致しますが。

都民委員

それでは、紹介しなさいということによいですね。

座 長

よろしいですか。

それでは、1期はこれで終了いたしますので、内藤副所長から、ごあいさつを頂けたらと思います。

行政委員

どうも、皆さん、大変ご苦労さまでございました。

座長並びに副座長、委員の皆様には、長期間に渡ってご参加頂き、本当にありがとうございます。

第1期流域連絡会につきましては、平成20年3月に発足いたしまして、これまで6回の委員会と3回のフィールドワークを重ねまして、浅川圏域河川の川のあり方や川づくり等につきまして、情報交換、意見交換、提案等を頂いて参りました。

1期目につきましては、委員の皆様の川への思いや認識、あるいは、特に自然環境に対する要望、あるいは議論が多かったように思っております。

課題は多岐にわたりまして、事務局としてもなかなかまとめきれなかった感がございますが、22年度からは、第2期に入って参ります。1期目の議論や情報交換を、更に深めまして、具体的な成果に繋げていきたいと思っております。

河川環境、あるいは、出水等、浅川圏域の河川の抱える課題につきましては、多岐にわたって参りますが、今後とも皆様方の、よろしくご指導、並びに、ご意見等を承りますよう、宜しくお願いします。

長いこと、ありがとうございました。

3 閉 会

座 長

それでは、閉会の辞をお願いします。

事務局

それでは、皆さん、長い間ありがとうございました。

閉会したいと思います。

ありがとうございました。